

# VI 受験上の注意

## 所持品

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>○黒鉛筆 (HB) ※シャープペンシルは記述解答部分には使用できませんが、マーク解答には使用できません。</li> <li>○消しゴム</li> <li>○鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)</li> <li>○時計 ※辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判断しづらいもの、秒針音のするもの・キッチンタイマー・ストップウォッチ・手のひらサイズを超える大型のものは使用できません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末等の電子通信機器類</li> <li>○定規 (定規の機能を備えた鉛筆等を含む)</li> <li>○コンパス</li> <li>○電子辞書、翻訳機、ICレコーダー等の電子機器類</li> <li>○電卓、そろばん</li> <li>○赤ペン、色鉛筆、色マーカーペン (蛍光ペン等)、グラフ用紙等の補助具</li> <li>○和歌・格言等が記されている鉛筆</li> </ul>

- 時計の貸し出しは行いません。●昼食は各自で用意のうえ自席で食事をとってください。
- 上履きを持参する必要はありません。

## 試験会場への 入退場

### 入場

受験票をしっかりと確認し、試験日、試験会場、入試方式、学部・学科を間違えないよう十分注意してください。指定された試験会場以外では、受験できません。

- (1) 試験会場の開門は9:00です。2月7日(月)GIS(グローバル教養学部)A方式の受験生は、12:10から入構できます。できる限り、開門時間に合わせて試験会場に来てください。
- (2) 受験票は必ず持参し、試験会場入口で受験番号が見えるよう提示してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験会場入口の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。仮受験票を交付する場所は試験会場ごとに異なります。必ず入口の係員に確認してください。
- (3) 試験開始時刻の15分前から試験の重要な説明、顔写真の照合、問題冊子・解答用紙の配付等を開始します。それまでに試験教室に入室し、自分の受験番号の席に着席してください。
- (4) 試験会場では、昼食時を除き、マスクを着用してください。休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話は極力控えてください。

### 遅刻

- (1) 遅刻は、1時限開始後20分(10:50)、2月7日(月)GIS(グローバル教養学部)A方式は2時限開始後20分(13:30)まで認めます。ただし、「入場(3)」の説明が受けられませんが、時間に余裕をもって、早めに来場するようにしてください。
- (2) 公共交通機関の遅れが生じた場合は、試験開始時刻を繰り下げることがあります。この場合、可能な限り駅で「遅延証明書」を発行してもらい、「公共交通機関の遅れにより遅刻した」ことを、必ず試験会場入口の係員に申し出てください。申し出がない場合は、試験時間繰り下げ等の対応ができない場合があります。
- (3) 大規模な公共交通機関の遅れに対しては、出来る限り試験時間割の繰り下げ実施など対応を取りますが、試験の進行上、繰り下げ時間には限界がありますのでご了承ください。試験日当日の繰り下げ等の対応は、本学入試情報サイト(<https://nyushi.hosei.ac.jp/>)でご案内します。

### 退場

- (1) 答案が完成した場合でも、試験が終了するまで退室できません。各時限とも、監督者の指示があってから退室してください。途中退室した場合は、全科目について欠席扱いとなり、不合格となります。
- (2) 最後の試験科目が終了するまで、試験会場の外へ出ることはできません。
- (3) 試験終了後は、混雑を避けるため、試験教室ごとに退出を指示します。

## 試験時間中の注意

- (1) 試験会場内ではすべて監督者の指示に従ってください。従わない場合は、不正行為とみなし、退室させることがあります。
- (2) 毎時限、試験開始15分前には自分の受験番号の席に着席してください。
- (3) 受験票は監督者が見やすいよう半分に折り、机の上に置いてください。受験票は切り離さないでください。
- (4) **試験教室に時計はありません。時計は各自持参してください。**
- (5) **携帯電話・スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末等の電子通信機器は、試験教室に入る前に電源を切ってかばんに入れておいてください。**これらは時計として使用できません。また、アラーム機能がある時計は、鳴らないように設定してください。  
試験時間中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんが特定できた場合、持ち主の同意なく監督者が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
- (6) 服装は自由ですが、試験時間中、英文字や地図等がプリントされている服などを着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。また、帽子・マフラー・サングラス・手袋（ビニール手袋（無色透明のもの）除く）の着用はできません。
- (7) 写真照合や不正行為防止のために、マスクを一時的に外すよう監督者から指示があった場合は従ってください。
- (8) ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）・ハンカチ・座布団・ひざ掛け・目薬・フェイスシールド・ビニール手袋（無色透明のもの）・アルコールティッシュ・手指用消毒液を使用したい場合は、監督者の確認を受けたうえで使用を認めます。使用時は、答案用紙等の汚損・破損に注意してください。
- (9) 耳せんは、監督者の許可を得たうえで、使用を認めます。ただし、耳せんの使用により、監督者の指示が聞こえないなどして不利益が生じた場合でも、大学は一切補償しません。
- (10) 試験教室は受験番号によって割り当てられますが、試験会場ごとの施設・建物・階数などによって、教室の大きさや机・椅子、室温などの環境は異なります。換気のため窓の開放を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験時間中の日常生活騒音など（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）に対して、座席の移動や、試験時間の補償などの救済措置は行いません。
- (11) 試験時間中の（ガム・あめなどを含む）飲食はできません。ただし、薬の服用については、試験開始前に監督者の許可を得たうえで認めます。
- (12) 他の受験生が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。
- (13) 試験時間中、体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合は、手を挙げて、監督者に申し出てください。容体により、休憩は認めますが、その分の試験時間の補償や、診療所での受験はできません。
- (14) 試験時間中、隣席の受験生がトイレに行く、体調不良による入退室の際などに、監督者の指示により、席を立っていただくことがありますので、ご了承ください。
- (15) 以下のように、大学が指示する解答方法に従わなかった場合、採点が正常にできない場合があります。
  - マーク解答方式で、シャープペンシルを使用してマークした
  - 解答用紙に氏名または受験番号を記入し忘れた
  - 受験する学部学科が指定する科目・設問を解答していない、またはそれ以外を解答した

## 不正行為

- (1) 以下に例示したことは不正行為になります。
- 出願書類(入学志願書含む)の偽造・虚偽記載、解答用紙に故意に虚偽の記載等(入学志願書に本人以外の写真を使う、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をした
  - カンニング行為(カンニングペーパー、教科書、参考書、他の受験生の答案を見る、携帯電話、スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末、電子辞書、翻訳機、ICレコーダー等の電子機器類を使用する、他の人から答えを教わる等)をした(電子機器類を電源を切ってかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりしていた場合も不正行為となることがあります)
  - 1つの時限で、2科目以上を解答した
  - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をした
  - 指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めた、または解答をやめなかった
  - 使用を認められていない用具を使用した
  - 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に、試験教室から持ち出した
  - 解答用紙を試験教室から持ち出した
  - 試験時間中または休憩時間に関わらず、他の受験生の妨害や迷惑行為を行った
  - 監督者等の指示に従わない
  - その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をした
- (2) 不正行為が疑われる際に、注意をすることや事情を聴取することがあります。
- (3) 不正行為と認められた場合の本学の対応は以下のとおりとします。
- ① 当日の入学試験の成績を含め、本年度受験した本学入学試験すべての成績を無効とします。
  - ② 翌日以降に行われる本年度の本学入学試験の受験は認めません。
- ※上記①、②いずれの場合も入学検定料は返還しません。

## その他の注意

- (1) 試験会場の下見は建物の入口までです。建物内には入れません。
- (2) 試験中は、原則として受験生以外は試験会場に入れません。保護者控室の設置はありません。また、すでに入場した受験生への忘れ物等の受け渡しは、厳正な試験運営に支障をきたす恐れがあるため応じません。
- (3) 試験会場への車での入構はできません。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので送迎はご遠慮ください。駐輪場はありません。公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車など公共交通機関以外を利用して試験開始時刻に遅刻した場合は、試験時間の補償などの救済措置は行いません。
- (4) 試験会場は館内すべて禁煙です。
- (5) 試験終了後、忘れ物がないか確認してから退室してください。忘れ物をした場合は、法政大学入学センター(03-3264-9312 / NKadm@ml.hosei.ac.jp)まで連絡してください。
- (6) **学校保健安全法で出席停止が定められているインフルエンザ、新型コロナウイルス等の感染症に罹患し治癒していない方は、他の受験生や監督者等に感染するおそれがあるため、受験はできません。**ただし、新型コロナウイルス感染症に罹患等した出願者は特別措置を行います。詳細は、P.62をご覧ください。
- (7) 不測の事態により、日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置を講ずる場合があります。これに伴う受験生の個人的損害については、本学は責任を負いかねます。

試験会場周辺でリーフレット・パンフレット類の配布や各種勧誘および「試験問題正解(模範解答)」の販売などを行っている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。勧誘に応じたり、氏名や連絡先などの個人情報をお教えしたことにより発生した事故やトラブルには本学では一切責任を負いませんので、十分注意してください。



## 新型コロナウイルス感染症対策・受験にあたってのお願い

- 文部科学省の「令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン(令和3年6月4日大学入学者選抜協議会)」に従って、次のような対策を行います。
- (1) 試験会場の衛生管理体制等について
- 試験教室内の収容人数は通常使用時の半数程度としています。
  - 試験会場には手指用消毒液を設置しています。
  - 試験教室は試験前に清掃、消毒しています。
  - 試験教室は換気を行います。一部の試験教室は窓が開閉しませんが、その場合は換気設備を活用しています。換気の時間帯があるため、防寒具を持参してください。
  - 監督者等はマスクまたはフェイスシールドを着用します。また、監督者等によってはビニール手袋を着用します。
  - 監督者等は体温測定や体調観察を行っています。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に罹患等した出願者の特別措置については、P.62をご参照ください。
- (3) 受験生に、試験日前日までにご協力をお願いすること
- 日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。
  - 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けることを検討してください。
  - 日頃から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。
- なお、以下に1つでも該当する方は、受験できません。
- 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない。
  - 保健所等から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている。※無症状の濃厚接触者への対応については、本学入試情報サイトでお知らせします。
  - 発熱・咳等の症状があり、試験当日の体温測定で、37.5度以上の熱がある。
  - 政府から入国制限、入国後の待機期間を必要とされている国・地域等への渡航歴があり、待機期間が終了していない。
- (4) 受験生に、試験日当日にご協力をお願いすること
- 発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の体温測定で、37.5度以上の熱がある場合は受験をご遠慮ください。37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を申し出てください。
  - 試験会場内では、昼食時を除き、マスクを着用してください(鼻と口の両方を確実に覆ってください)。ただし、本人確認時は監督者等の指示に従いマスクを外してください。マスクの着用が困難な受験生は、P.30「受験上および修学上の配慮が必要な方へ」を参照の上、申請してください。
  - 休憩時間や昼食時、入退場時等の他者との接触、会話を極力控えてください。
  - 手洗いや試験教室への入退出ごとの手指の消毒、咳エチケットを行ってください。
  - 混雑を避けたトイレ利用にご協力ください。
  - 昼食は持参のうえ、自席での食事をお願いします。ごみの持ち帰りにご協力ください。
  - 受験以外の用務がある者の入場を最小限にするため、受験生以外(保護者等)は試験会場に入れません。また、控室は設置しません。
  - 発熱・咳等の症状のある受験生がいた場合には、診療所へご案内する場合がありますが、その分の時間補償や、診療所での受験はできません。
  - 試験会場内ではマスクを廃棄しないでください。ビニール袋などに入れて必ず持ち帰ってください。
  - 試験終了後は、混雑を避けるため、退出の指示があるまでそのまま待機してください。
  - 各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。
  - 帰宅後はまず手や顔を洗ってください。
- (5) 受験生に、試験日終了後にご協力をお願いすること
- 新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明した場合は、法政大学入学センター(03-3264-9312/NKadm@ml.hosei.ac.jp)までご連絡ください。濃厚接触者の特定等、保健所等の行政機関が行う必要な調査への協力をお願いすることがあります。